

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	住宅管理運営事業	担当課・係名	福祉課地域福祉係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	40
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	公営住宅法に基づく、町営月京住宅維持管理のため、住宅に困窮する低所得者に対し、低廉な家賃で住宅を供給				
対象 (誰を・何を)	町営月京住宅（町営東町住宅 1 件含む）				
内容	町営住宅（旧町営住宅含む）に関する維持管理及び県内自治体等との連絡会議の参加				
根拠法令・条例等	大磯町営住宅管理条例、大磯町営住宅管理条例施行規則				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度※ (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	336,900	19,154	97
	国庫支出金	千円	138,900	3,295	
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	1,071	3,169	97
	一般財源	千円	196,929	12,690	
	職員人数 (概算職員数)	人			0.17
	人件費計 (b)	千円			1,042
総事業費 (a)+(b)	千円	336,900	19,154	1,139	
事業費内訳	報酬：20千円    旅費：6千円    需用費：61千円    負担金補助及び交付金：10千円 ※平成23年度決算額には、町営月京住宅建替事業費（333,836千円）及び、旧町営住宅（2戸）の取壊しに係る工事費用（1,627千円）を含んでいる。 ※平成24年度決算額には、旧町営住宅（16戸）の取壊しに係る工事費用（13,828千円）及び測量委託料（628千円）を含んでいる。				
H 25 年度					

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 供給戸数	戸	16	25	25
	②				
活動指標 (活動量)	① 管理戸数	戸	16	25	25
	②				
成果指標 (達成度等)	① 入居率	%	100	100	100
	② 住宅使用料 (収納率)	円 (%)	525,900 (100)	3,603,800 (100)	5,000,000 (100)

※駐車場使用料含む

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	事務の性質上、町で行うことが妥当と考える。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	全体的な管理は町で行い、点検とは業者に委託している。管理戸数の多い市では指定管理制度を導入しているところもある。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	旧住宅が新住宅（月京住宅）に集約され、入居を希望する世帯は全て入居できた。また、入居率が100%であることから、ある程度の成果が得られていると考える。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他
	理由	新住宅（月京住宅）の管理全般は、管理組合主導で行うと変更し、軌道に乗るまでは、ある程度行政側で行う必要があるが、その他としてはおおむね効率的に行われていると考える。
	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
理由	新住宅（月京住宅）に関しては、新たに国庫補助金の対象となったため、家賃体系は、国に準ずることとなり、当面は、継続して行っていく。 また、旧住宅跡地の管理等（測量は除く）は、直営で行っておりコスト削減を図っている。	
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 旧住宅地の処分（行政財産から普通財産への変更）を引き続き進めており、また管理組合での管理も徐々に進んでおり、一定の成果等が表れてきている。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	ストック計画等を策定し、維持管理をすることで、長寿命化を進めていきたい。
② 平成26年度に着手する事項	なし。
③ その他（課題、調整事項等）	なし。

#### 6. 平成26年度事業への取り組み状況（改善内容等）

竣工より2年が経過し、瑕疵担保期間が終了するため、今後、職員による目視等の簡易点検の他、長寿命化に向けて、今後の修繕内容（計画）を準備を進める。
--